

IWATE
KENMIN KAIKAN
CONCERT
SALON
2022

楽しくなければ 音楽じゃない
クオリティが高くなければ 音楽じゃない
楽しくてハイ・クオリティな コンサート・サロン 2022

IWATE
KENMIN KAIKAN
CONCERT
SALON
2022

会員券のお取り扱い

3公演分の年間指定のお席をご購入いただいた方は、コンサート・サロン会員となります。

- 1 価 格 | 12,000 円 (小中高生半額)
- 2 発売期間 | 3/18(金) ~ 7/14(木) まで
- 3 プレイガイド | 県民会館

○会員特典

- *岩手県民会館主催事業公演チケットを県民会館窓口で **20%引き**で購入できます。(一部の公演をのぞく)
- *岩手県民会館主催事業公演の先行予約ができます。(一部の公演をのぞく)
- *毎月の催物案内等の主催事業案内をお送りいたします。
- *バンドレコードイオン盛岡南店(イオン盛岡南 SC3F)で CD を **10%引き**で購入できます。
- *翌年度のコンサート・サロンの会員券が一般発売に先がけて購入いただけます。

各一回券のお取り扱い

- 1 価 格 | 5,000 円 (小中高生半額)
- 2 発売日 | 6月上旬
- 3 プレイガイド | 県民会館、アネックスカワトクカワトク、盛岡市民文化ホール
いわて生協各店

最新の情報は県民会館HPをご確認ください

| 主催 | 岩手県文化振興事業団、IBC岩手放送
| 後援 | 岩手県、岩手県教育委員会、岩手県芸術文化協会、岩手日報社

| お問い合わせ | 〒020-0023 盛岡市内丸13-1
岩手県民会館 事業課 TEL 019-624-1173

第214回

ニューヨークフィル・ ブラス・クインテット

ニューヨーク・フィルの名プレーヤーたちによる金管五重奏団
世界最高のブラス・セクションが放つ、輝ける摩天楼の息吹

7月14日(木) <<開演>>18:30 中ホール



ニューヨークフィル・ブラス・クインテット

〈金管五重奏〉 *New York Philharmonic Brass Quintet*

トランペット：クリストファー・マーティン、イーサン・ベンスドーフ
ホルン：リチャード・ディーン
トロンボーン：コリン・ウィリアムズ
チューバ：アラン・ペイアー

1983年夏より活動をはじめ以来、アメリカ、ヨーロッパ全土はもとより、カナダ、メキシコ、中国、日本などでツアーを行い、世界最高峰オーケストラ、ニューヨーク・フィルのトップ奏者達ならではの超重量級アメリカン・サウンドは大きな反響を呼んでいる。驚異的なテクニックと音量で、どんな難曲も難しさを感じさせずに軽々と吹き鳴らす。一部のブラス・ファンからは神のごとく崇められているスーパースター達が繰り広げるブリリアントなサウンドと練り上げられたステージは、すべての音楽ファンに強烈な感動を与え続けている。

第215回

小林美恵 ヴァイオリン・リサイタル

美しい音色とダイナミックで重厚な演奏
ロン＝ティボー国際コンクールで
日本人として初めて優勝した実力派

10月26日(水) <<開演>>18:30 中ホール



小林美恵 〈ヴァイオリン〉

Mie Kobayashi

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学を首席で卒業。在学中に安宅賞、福島賞を受賞。1990年、ロン＝ティボー国際コンクールヴァイオリン部門で日本人として初めて優勝。以来、日本を代表するヴァイオリニストとして活躍。これまでに、国内の主要オーケストラ、ハンガリー国立交響楽団、ブラハ交響楽団と共演し、充実した演奏を高く評価された。また、静岡のAOI・レジデンス・クワルテットのメンバーをはじめ、数多くの共演者と室内楽でも活躍。2010年には、ロン＝ティボー国際コンクールのヴァイオリン部門の審査員として招かれた。

2015年デビュー25周年は、2017年までに6回の記念リサイタルシリーズを企画・好演。2018年からHakuju Hallにてヴァイオリンの魅力に迫る全6回のリサイタルシリーズを行った。CDは「J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ & パルティータ(全曲)」等多数リリース。現在、昭和音楽大学客員教授。

オフィシャル・ホームページ： <http://miekobayashi.com/>

第216回

小山実稚恵 ピアノ・リサイタル

仙台市で生まれ、盛岡市で育つ
日本人ピアニストとして

二大国際コンクールに入賞した唯一無二の存在

12月9日(金) <<開演>>18:30 中ホール



小山実稚恵 〈ピアノ〉

Michie Koyama

圧倒的存在感をもつ日本を代表するピアニスト。チャイコフスキー国際コンクール、ショパン国際ピアノコンクール入賞以来、常に第一線で活躍し続けている。協奏曲のレパートリーは60曲を超え、国内外の主要オーケストラや指揮者からの信頼も厚く、多くの演奏会にリストに指名される。『12年間・24回リサイタルシリーズ』(2006年～17年)や『ベートーヴェン、そして…』(2019年～21年)は、その演奏と企画性で高く評価された。22年から新たに「コンチェルトシリーズ」がスタート予定。

東日本大震災以降、被災地でも演奏を行い、仙台では自ら企画立案した『こどもの夢ひろば“ボレロ”』を開催するなど、被災地活動にも情熱を注いでいる。CDはソニーより32枚をリリース。ベートーヴェン・アルバム『ハンマークラヴィア・ソナタ他』(2020年)と『ピアノ・ソナタ第30、31、32番』(2021年)は、共に「レコード芸術」特選盤に選ばれた。著書『点と魂と—スイートスポットを探して』、平野昭氏との共著『ベートーヴェンとピアノ』(全2巻)を出版。文化庁芸術祭音楽部門大賞、東燃ゼネラル音楽賞洋楽部門賞、大阪市民表彰、文化庁芸術祭音楽部門優秀賞、芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。17年度には紫綬褒章を受章。